

参 考

地方公営企業会計について

令和 6 年 12 月 16 日
八戸圏域水道企業団
経 営 審 議 会

水道事業は独立採算制

◆経費の負担の原則

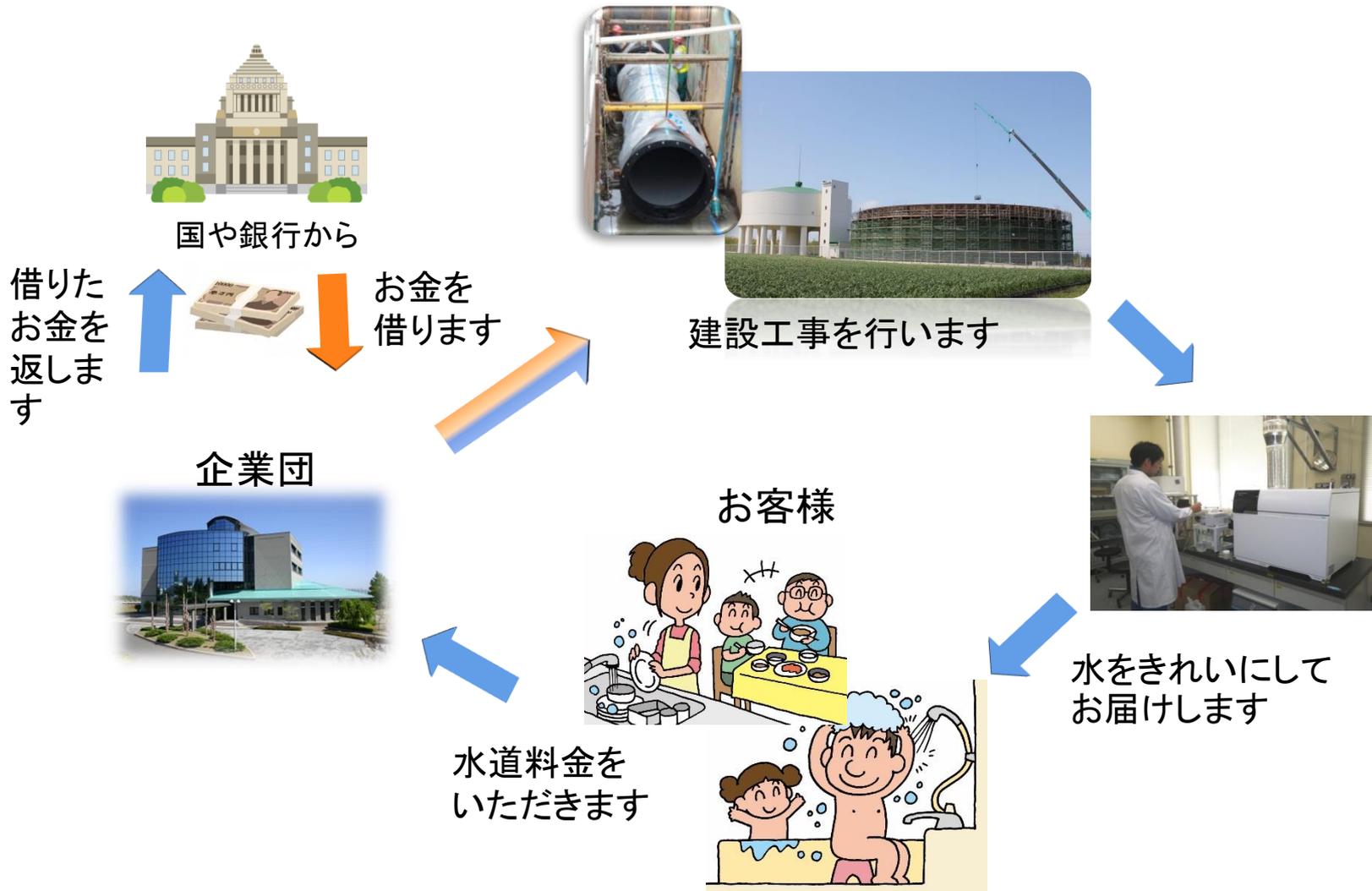
地方公営企業の経費は
企業経営の収入で充てる



水道料金収入

税ではなく対価を得てサービスを提供

水道事業は水道料金で



地方公営企業会計の特徴

- ・発生主義・複式簿記

(現金主義ではない)

- ・損益取引と資本取引の区分がある

(管理運営に係る取引「損益」と建設改良等に係る取引「資本」を区分経理)

- ・予算・決算双方を重視

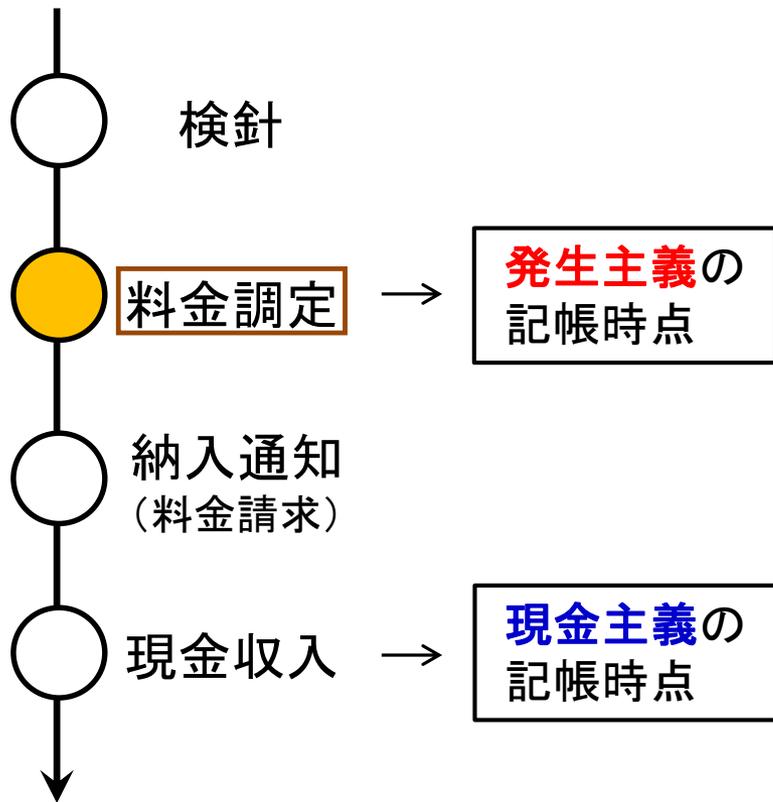
(予算制度を伴った会計)

官庁会計は予算中心主義、株式会社会計は決算中心主義)

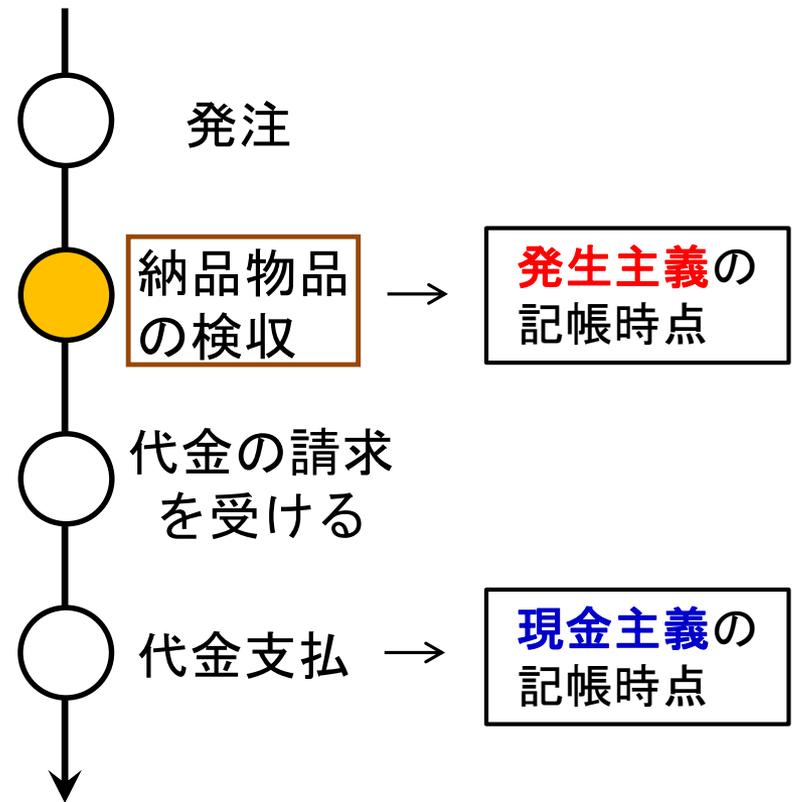
発生主義

記帳時点の比較

水道料金の収入



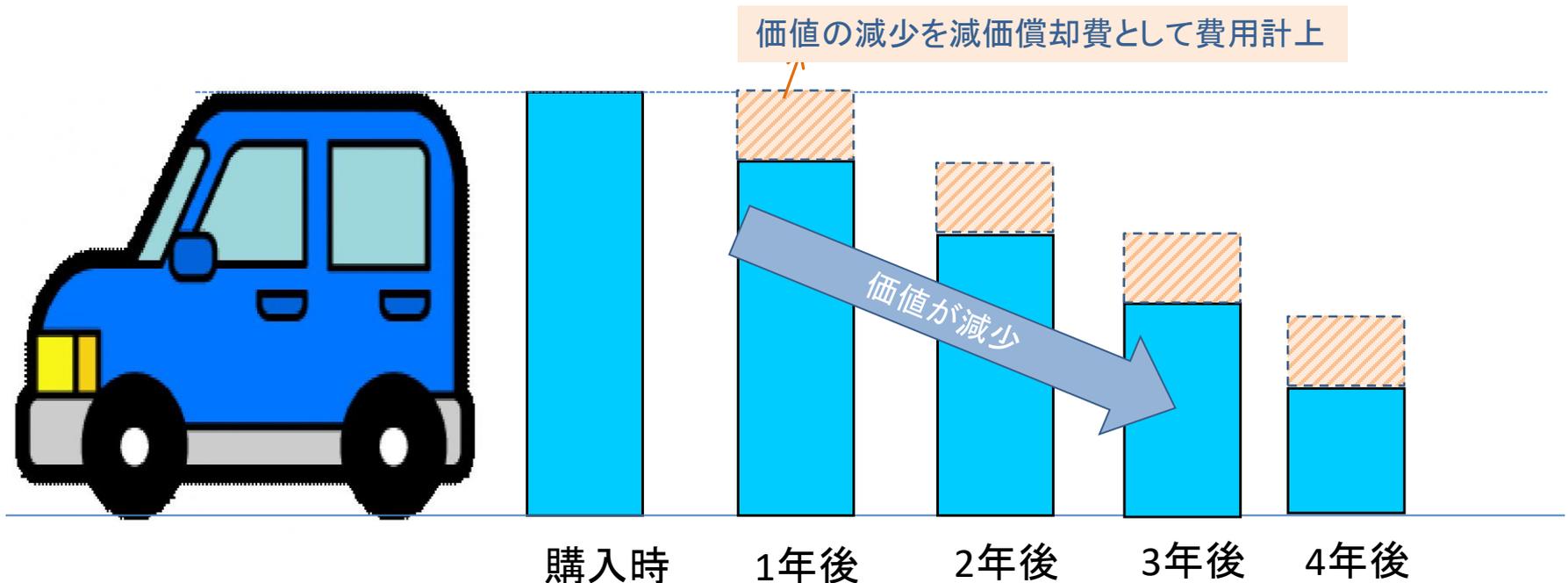
物品購入代金の支払



発生主義

減価償却費（費用配分）

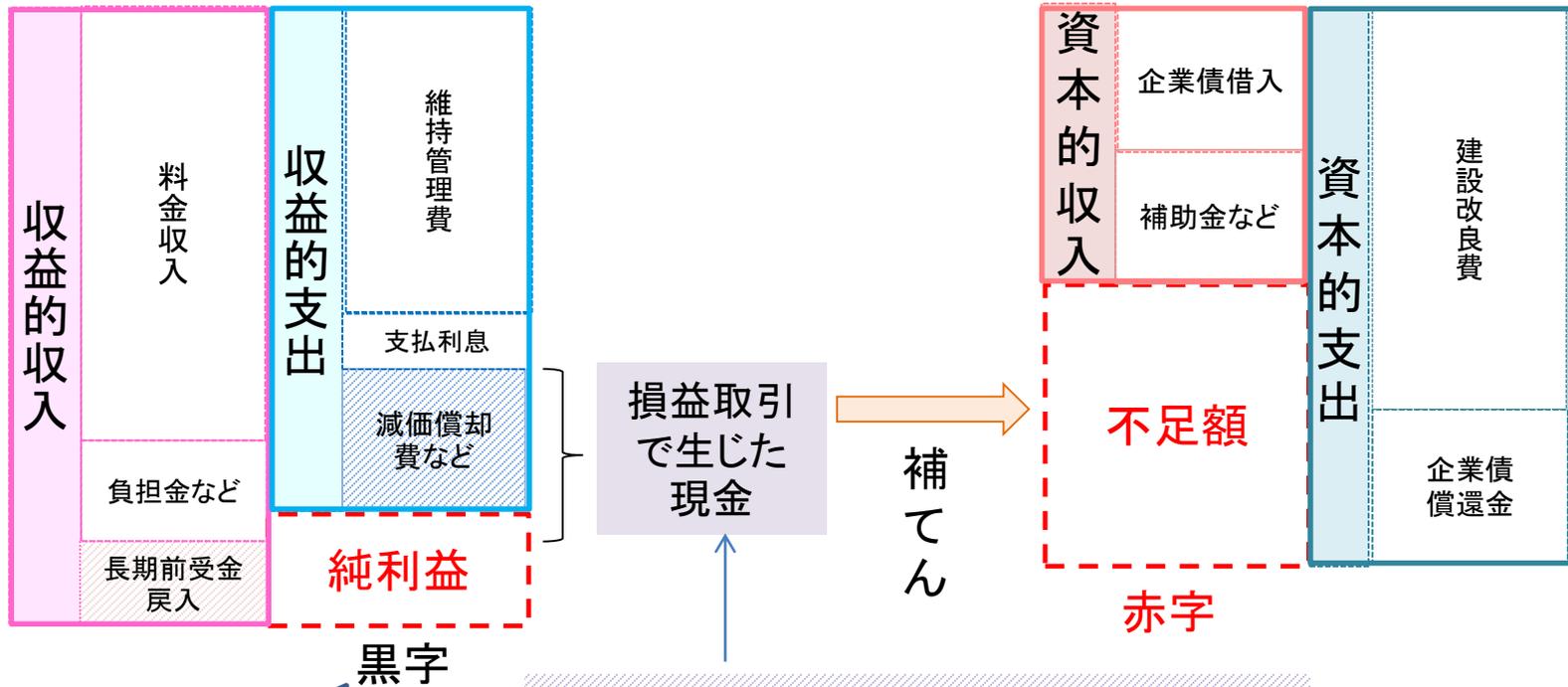
- ・ 支出の効果が数年間にわたって持続するものは、その支出年度の費用とされず、翌年度以降に繰り延べられ（固定資産）、翌年度以降の期間損益計算の費用として計上される。
- ・ 固定資産は、使用や年数の経過により価値が減少するので、その減少分を費用として捉える。
- ・ 現金の支出がない費用（現金は固定資産の取得時に支出済み：資本的支出）



損益取引と資本取引の関係について

【損益取引】
収益的収支

【資本取引】
資本的収支



公共的
必要余剰

- 内部に留保される現金
(減価償却費など現金支出を伴わない費用
—長期前受金戻入など現金収入を伴わない収入)
- 利益(積立金に積み立て、それを取り崩して使用)

営利目的の「もうけ」とは異なる